

震災1ヵ月 死者1万3013人



東日本大震災の1ヵ月、多くの被災者が避難生活を送り、行方不明の被害も続いている。被災地では、今も多くの被災者が避難生活を送り、行方不明の被害も続いている。被災地では、今も多くの被災者が避難生活を送り、行方不明の被害も続いている。

河北新報

4月11日(月)
河北新報社
社址: 河北省石家庄市
電話: (0311) 211-1111

避難者15万1115人

東日本大震災発生後、避難者の数は15万1115人に達した。これは、4月10日現在の数字である。避難者の数は、震災発生後、急激に増加し、現在は15万1115人に達している。これは、震災発生後、避難者の数は15万1115人に達した。これは、4月10日現在の数字である。

宮城県 高所移住・漁港集約盛る

復興基本方針固まる

宮城県は、震災発生後、高所移住と漁港集約を復興の基本方針と定めた。これは、震災発生後、高所移住と漁港集約を復興の基本方針と定めた。これは、震災発生後、高所移住と漁港集約を復興の基本方針と定めた。

元の家で生活不安7割

津波防災 過半数「意識せず」

津波防災 過半数「意識せず」

東日本大震災の被害者数

死者数(行方不明者数)	宮城	岩手	福島	青森	山形	全国
7,929人(6,460人)	3,811人(4,721人)	1,211人(3,423人)	3人(1人)	2人(0人)	13,013人(14,608人)	

再生へ心ひとつに

再生へ心ひとつに

河北春秋

河北春秋

おこわ

おこわ



津波で流された自宅の一部を見つけて立ちつくす男性。生活再建の道は険しい。5日、仙台市若林区荒浜

宮城沿岸 避難者アンケート

「海が思い出ても友も奪った」

「受け継がれた家守りたい」

恐怖と愛着揺れる

複雑

自宅あった場所 再び住みたいか

未定も3割悩み深く

思い願ひ誓い重く

宮城沿岸の避難者アンケートの結果。多くの被災者が、自宅があった場所を再び住みたいと考えている。しかし、未定も3割に達している。また、多くの被災者が、思い願ひ誓い重く、自宅があった場所を再び住みたいと考えている。



不安

家、仕事、生活費、子育て...

暮らしの展望描けず

情報不足 行政に不満

宮城沿岸の避難者アンケートの結果。多くの被災者が、不安を感じている。家、仕事、生活費、子育てなどの問題が、多くの被災者の悩みの種となっている。また、多くの被災者が、暮らしの展望を描けず、情報不足に行政に不満を感じている。